

## 業績ハイライト (単体)

2021年9月期

### 経常利益

97 億円

経常利益は、役員取引等利益の増加などから、前中間期に比べ17億円増加し、97億円となりました。

### 中間純利益

69 億円

中間純利益は、前中間期に比べ12億円増加し、69億円となりました。

### 総預金等 (平均残高)

5兆6,637 億円  
※総預金+譲渡性預金

### 総貸出金 (平均残高)

4兆345 億円

### 自己資本比率 (国内基準)

10.04%

経営の健全性を示す自己資本比率は国内基準を大きく上回っています。

### 不良債権比率

1.54%

健全な資産を維持しています。

### 格付け

A (安定的)  
格付投資情報センター (R&I)

経営の健全性や信用力が評価されています。

## 株式情報 2021年9月30日現在

### 株主優待制度

当行では、日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています。

毎年3月末時点で1,000株以上を保有いただいている株主さまに、三重県ゆかりの名産品を掲載したギフトカタログを、毎年6月下旬に配当金関係書類とともにお送りしています。



#### ●対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当行株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちの株主さま

#### ●株主優待の内容

三重県ゆかりの名産品を掲載した「株主さまご優待ギフトカタログ」のなかから、保有株式数に応じてお好みの一品をお選びいただけます。

保有株式数	お選びいただける特産品
1,000株以上 5,000株未満	3,000円相当
5,000株以上	5,000円相当

### 株式の状況

発行する株式の総数	396,000千株	上場証券取引所	東京・名古屋
発行済株式の総数	254,119千株	証券コード	8368
株主数	16,396名		

### 株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会議決権：毎年3月31日現在の株主さま 期末配当金：3月31日現在の株主さまに対し、株主総会の決議によりお支払いします。 中間配当金：中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いします。
公告方法	電子公告：当行ホームページ <a href="https://www.hyakugo.co.jp/">https://www.hyakugo.co.jp/</a> に掲示します。 ただし、電子公告ができない場合は日本経済新聞および伊勢新聞に掲載します。

株主名簿管理人  
特別口座の  
口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

編集 / 株式会社百五銀行 経営企画部  
三重県津市丸之内31番21号  
電話 059-223-2326  
(本店所在地：三重県津市岩田21番27号)  
2021年12月発行  
<https://www.hyakugo.co.jp/>



# HYAKUGO BANK REPORT 2021

ミニディスクロージャー誌

2021年9月期 営業の中間ご報告

### 当行の概要 (2021年9月30日現在)

名称	株式会社百五銀行
創立	1878年(明治11年)11月19日
本店所在地	三重県津市岩田21番27号
代表者	取締役頭取 伊藤 歳恭
資本金	200億円
従業員数	2,413名

 百五銀行  
FRONTIER BANKING



取締役頭取  
伊藤 歳恭

平素は、百五銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年度は、当行が2019年4月から取り組む中期経営計画『KAI-KAKU150 1st STAGE「未来へのとびら」～デジタル&コンサルティングバンクをめざして～』の最終年度にあたります。新型コロナウイルス感染症の影響の長期化など、当行を取り巻く環境は依然厳しい状況にありますが、日々の業務に真摯に取り組むことで、中期経営計画で掲げた“土台づくりの3年”を着実に実現いたします。

また、異常気象や自然災害の甚大化など気候変動リスクの高まりを受け、TCFD提言への賛同を表明し、地域の脱炭素化に向けた取り組みを行っています。今後も「デジタル」「コンサルティング」、そして「グリーン」をキーワードに、予想できない環境変化にもしなやかに対応できる強靱な組織づくりを通じて、持続的な成長を実現してまいります。

厳しい経済環境が続いておりますが、地域の皆さまとともに発展していくために、グループの総力を挙げ、全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

## 百五銀行のSDGsへの取り組み

百五銀行グループは、「SDGs」を企業行動・経営戦略につなげ、本業を通じた地域の社会的課題の解決と経済発展の両立を図ることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 地球環境・地域環境の保全



#### TCFD提言への賛同



2021年6月、「TCFD\*1（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明しました。

近年、世界各地で異常気象や自然災害による被害が甚大化しており、気候変動への対応は企業経営の大きな課題となっています。こうした状況のなか、当行はTCFD提言に賛同し、気候変動がお客さまおよび当行に及ぼすリスクと機会を把握・評価するとともに、ステークホルダーの皆さまへの情報開示の充実に努めてまいります。

\*1 TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)  
G20財務大臣・中央銀行総裁会議の要請を受け、金融安定理事会 (FSB) が2015年12月に設置したタスクフォース。気候関連のリスク・機会を評価し、財務への影響を開示することを推奨しています。

#### 再生可能エネルギーファンドの運営



2021年9月、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の普及・拡大に向けて、再エネファンドを運営する「Zエナジー株式会社」の設立に参画しました。

同社が運営するファンドでは、再エネ電力を「つくる」発電事業に投資するだけでなく、当行をはじめとした同社の株主や関係者が再エネ電力を「つかう」ところまでを、一貫して行うことで、再生可能エネルギーの普及に貢献します。

#### 三重県産CO<sub>2</sub>フリー電気の導入

岩田本店棟および丸之内本部棟（ともに三重県津市）に、中部電力ミライズ株式会社が提供する三重県産CO<sub>2</sub>フリー電気「三重美し国Greenでんき\*1」を導入しました。本件によるCO<sub>2</sub>排出量削減効果は年間約1,362t\*2となり、これは当行全体の電力使用量の約2割に相当します。

また、電気料金の一部が、中部電力グループが保有する宮川第三水力発電所の改修支援などに活用されることで、当行は自社のCO<sub>2</sub>フリー化だけでなく、三重県内の再生エネ電源の維持・拡大にも貢献いたします。



\*1 三重美し国Greenでんき  
三重県内に立地する榑田川や宮川等の水系にある水力発電所で発電された電気は、同発電所に由来する環境価値を活用することで、CO<sub>2</sub>排出量をゼロにした三重県産の電気が供給されるものです。  
岩田本店棟は2021年8月、丸之内本部棟は2021年10月に導入しました。  
\*2 2020年度の使用実績値にもとづきます。

中期経営計画 2019年4月～2022年3月		KAI-KAKU150 1st STAGE 「未来へのとびら」 ～デジタル&コンサルティングバンクをめざして～			
3つの改革		項目	2021年3月期 (実績)	2021年9月期 (実績)	2022年3月期 (中計最終目標)
収益構造改革	収益性指標	当期(中間)純利益	122億円	69億円	100億円以上
	資本効率指標	ROE(株主資本ベース)	4.56%	5.06%	3.7%以上
	効率性指標	OHR(コア業務粗利益ベース)	70.81%	66.26%	79%未満
組織・人材改革	健全性指標	自己資本比率	10.11%	10.04%	9.5%以上
	IT・デジタル改革	成長性指標	総預金平残(譲渡性預金含む)	5兆4,053億円	5兆6,637億円
		総貸出金平残	3兆8,240億円	4兆345億円	3兆7,000億円以上
		預貸率(平残ベース)	70.7%	71.2%	70.8%以上